

## 総目次

はじめに ～スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 不祥事対応事例集のご利用に 当たって.....	17
1 不祥事対応事例集利用のポイント.....	18
2 本書の構成.....	19
スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン不祥事対応事例集.....	21
類型1) スポーツ団体が組織内犯罪を行っている場合 ～不正経理等.....	23
類型2) スポーツ団体の会議体運営に問題がある場合 ～内部対立、役員改選、会議体不開 催問題.....	33
類型3) スポーツ団体の具体的業務運営に問題がある場合 ～内部ルール違反、代表選手選 考問題.....	39
類型4) スポーツ団体の懲罰、紛争解決に問題がある場合 ～内部ルール不備、適用の問題点 45	
類型5) スポーツ団体の会計処理に問題がある場合 ～不適切経理.....	51
類型6) スポーツ団体の情報公開に問題がある場合 ～情報隠蔽、説明責任違反.....	59
◆ 事例① (情報隠蔽).....	59
◆ 事例② (説明責任).....	63
類型7-1) スポーツ・インテグリティ(高潔性)に問題がある場合 ～暴力・暴言・体罰・いじめ	69
類型7-2) スポーツ・インテグリティ(高潔性)に問題がある場合 ～パワハラ・セクハラ .....	81
類型7-3) スポーツ・インテグリティ(高潔性)に問題がある場合 ～ヘイトスピーチ・侮辱等..	99
類型7-4) スポーツ・インテグリティ(高潔性)に問題がある場合 ～アンチ・ドーピング .....	105
◆ 事例① (うっかりドーピング) .....	105
◆ 事例② (故意のドーピング).....	109
◆ 事例③ (汚染サプリメント).....	111
類型7-5) スポーツ・インテグリティ(高潔性)に問題がある場合 ～八百長.....	117
類型7-6) スポーツ・インテグリティ(高潔性)に問題がある場合 ～スポーツ事故.....	125

類型8) スポーツ団体の役職員、選手・指導者による刑事事件 .....	133
◆ 事例① (暴行事件).....	135
◆ 事例② (未成年の飲酒・喫煙).....	141
◆ 事例③ (違法賭博).....	147
◆ 事例④ (人身事故).....	153
類型9) スポーツ団体の危機管理に問題がある場合 .....	165
◆ 事例① (スポーツ団体による問題放置).....	167
◆ 事例② (スポーツ団体としての危機対応).....	173
類型 10) その他法令違反 ～個人情報保護法違反.....	183

## 細目次

はじめに　～スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 不祥事対応事例集 のご利用に当たって .....	17
1 不祥事対応事例集利用のポイント .....	18
2 本書の構成 .....	19
スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン不祥事対応事例集 .....	21
類型1) スポーツ団体が組織内犯罪を行っている場合　～不正経理等 .....	23
・ 対応のポイント .....	23
(1) 刑事責任 .....	23
(2) 国に対する返還義務、損害賠償義務 .....	24
(3) AのB、C、Dその他の理事及び監事に対する損害賠償請求 .....	24
(4) 社員代表請求 .....	24
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	25
(1) 捜査機関、裁判所による刑事手続への協力、専門家との連携 .....	25
(2) 有識者による十分な事実関係の調査・原因究明 .....	25
(3) 調査結果を基にした適切な処分 .....	26
① 組織内犯罪その他の不適切行為に関与した役職員の処分 .....	26
② 流出した金銭の回収 .....	27
(4) 再発防止策の実施　～コンプライアンス規程や体制の整備 .....	27
① コンプライアンス規程の整備 .....	27
② コンプライアンス体制の整備 .....	27
③ コンプライアンス教育の実施 .....	28
④ スポーツ振興事業助成金を受ける 団体の心得、会計処理の手引 .....	28
(5) 広報　～社会からの信頼回復 .....	28
・ (参考) 処分基準 (スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル 処分基準) .....	30
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分 .....	32
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分 .....	32

<b>類型 2) スポーツ団体の会議体運営に問題がある場合 ～内部対立、役員改選、会議体 不開催問題</b> .....	<b>33</b>
・ 対応のポイント.....	33
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	34
(1) 理事会の役割にふさわしい人材の任用.....	34
① スポーツ団体内における多様性 ～年齢、性別等.....	34
② スポーツ団体外の専門性・客観性の確保.....	34
③ 任期制限その他理事の固定化を防止する措置.....	35
(2) 理事会の適切な運営.....	35
(3) 広報 ～社会からの信頼獲得.....	36
(4) 理事会の役割を全うするために ～スポーツ団体内の情報共有.....	36
(5) コンプライアンス教育 ～一般法人法、公益認定法の十分な理解.....	36
・ (参考) 処分基準 (スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙 6 モデル 処分基準).....	37
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分.....	38
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分.....	38
<b>類型 3) スポーツ団体の具体的業務運営に問題がある場合 ～内部ルール違反、代表選 手選考問題</b> .....	<b>39</b>
・ 対応のポイント.....	39
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	40
(1) 適正な代表選手選考体制の確立.....	40
① 選考基準の設定 ～代表選手選考の重大性.....	40
② 具体的かつ公平な選考基準の決定.....	40
③ 選考基準の周知.....	41
④ 選考手続・選考理由の広報.....	41
⑤ 不服申立手続の設置.....	41
(2) 内部ルール遵守に関するコンプライアンス教育の実施.....	42
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分.....	43
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分.....	43
<b>類型 4) スポーツ団体の懲罰、紛争解決に問題がある場合 ～内部ルール不備、適用の 問題点</b> .....	<b>45</b>
・ 対応のポイント.....	45
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	46
(1) 十分な事実関係の調査・原因究明.....	46

(2) 調査結果をもとにした適切な処分 ～弁明の機会と処分の適正	46
① 弁明の機会の付与	46
② 処分の適正性確保	47
③ 処分内容と理由の通知・説明	47
(3) 不服申立手続の設置	47
(4) 内部ルール遵守に関するコンプライアンス教育の実施	48
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分	49
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分	49
<b>類型 5) スポーツ団体の会計処理に問題がある場合 ～不適切経理</b>	<b>51</b>
・ 対応のポイント	51
・ コンプライアンス強化のための実践案	52
(1) 有識者による十分な事実関係の調査・原因究明	52
(2) 調査結果をもとにした適切な処分	52
① 不正経理に関与した役職員の処分 ～弁明の機会と処分の適正	53
② 流出した金銭の回収・過剰に取得した金銭の返還	53
(3) 再発防止策の実施 ～外部の経理調査やコンプライアンス教育	54
① スポーツ団体から独立した外部の有識者による経理の調査	54
② 通報制度等の整備	54
③ 内部統制制度等の整備	55
④ 役職員自らによるコンプライアンス研修会等の実施	55
a スポーツ団体の資産は役職員の資産ではないことの再認識	55
b 理事はスポーツ団体から業務執行を委任されている法的責任者であることの再認識	55
c 従業員等スタッフのトレーニング	56
(4) 広報 ～社会からの信頼回復	56
・ (参考) 処分基準 (スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙 6 モデル処分基準)	57
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分	58
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分	58
<b>類型 6) スポーツ団体の情報公開に問題がある場合 ～情報隠蔽、説明責任違反</b>	<b>59</b>
・ <b>事例① (情報隠蔽)</b>	<b>59</b>
・ 対応のポイント	59
・ コンプライアンス強化のための実践案	60
(1) 透明性と説明責任	60
(2) 情報公開体制の整備	60

① 開示すべき情報の範囲.....	60
② 開示すべきタイミング.....	61
(3) 情報公開に関するコンプライアンス教育の実施.....	61
・ <b>事例②（説明責任）</b> .....	<b>63</b>
・ 対応のポイント.....	63
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	64
(1) 透明性と説明責任.....	64
(2) 情報公開体制の整備.....	64
① 開示すべき情報の範囲.....	64
② 開示すべきタイミング.....	65
③ 内部調査の実施と公表内容の吟味.....	65
(3) 情報公開に関するコンプライアンス教育の実施.....	66
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分.....	67
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分.....	67
<b>類型7-1) スポーツ・インテグリティ（高潔性）に問題がある場合 ～暴力・暴言・</b>	
<b>体罰・いじめ</b> .....	<b>69</b>
・ 対応のポイント.....	69
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	70
(1) スポーツ団体としての調査 ～迅速かつ公正な調査.....	70
(2) 関係者への説明.....	70
(3) 処分の在り方 ～弁明の機会と処分の適正.....	71
① 弁明の機会の付与.....	71
② 行為と処分の均衡.....	71
③ 処分内容の説明等.....	72
(4) 再発防止策の実施.....	72
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドライン等の関連規程の作成.....	72
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置.....	73
③ 相談窓口の設置.....	73
④ 関係者に対するコンプライアンス教育啓発活動.....	73
(5) 広報 ～社会からの信頼回復.....	74
・ （参考）処分基準（スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル処分基準）.....	75
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分.....	78
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分.....	78

<b>類型7-2) スポーツ・インテグリティ（高潔性）に問題がある場合 ～パワハラ・セクハラ</b> .....	<b>81</b>
・ 対応のポイント.....	81
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	82
(1) スポーツ団体としての調査 ～迅速かつ公正な調査.....	82
① セクシャルハラスメント.....	82
② パワーハラスメント.....	83
(2) 関係者への説明.....	84
(3) 処分の在り方 ～弁明の機会と処分の適正.....	84
(4) 再発防止策の実施.....	85
① 各スポーツ団体における関連規程の作成.....	85
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置.....	86
③ 相談窓口の設置.....	86
④ 関係者に対するコンプライアンス教育啓発活動.....	87
(5) 広報 ～社会からの信頼回復.....	87
・ (参考) 処分基準（スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル処分基準）.....	88
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分.....	96
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分.....	96
<b>類型7-3) スポーツ・インテグリティ（高潔性）に問題がある場合 ～ヘイトスピーチ・侮辱等</b> .....	<b>99</b>
・ 対応のポイント.....	99
・ コンプライアンス強化のための実践案.....	100
(1) 事実関係の調査及び処分に関する対応.....	100
(2) 再発防止策の実施.....	101
① 各スポーツ団体における関連規程の作成.....	101
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置.....	101
③ 通報窓口の設置.....	101
④ 関係者に対するコンプライアンス教育啓発活動.....	102
(3) 広報 ～社会からの信頼回復.....	102
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分.....	103
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分.....	103

<b>類型 7-4) スポーツ・インテグリティ（高潔性）に問題がある場合 ～アンチ・ドーピング</b> .....	<b>105</b>
・ <b>事例①（うっかりドーピング）</b> .....	<b>105</b>
・ 対応のポイント .....	105
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	106
(1) スポーツ団体内のアンチ・ドーピング体制の確立 .....	106
① 最新のアンチ・ドーピング情報の入手 .....	106
② 公認スポーツファーマシストへの相談の徹底 .....	107
(2) 選手に対するコンプライアンス教育 .....	107
① 選手に求められる責務の周知徹底 .....	107
② 過去のうっかりドーピング事例の活用 .....	108
・ <b>事例②（故意のドーピング）</b> .....	<b>109</b>
・ 対応のポイント .....	109
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	110
(1) スポーツ団体内のアンチ・ドーピング体制の確立 .....	110
(2) 選手等に対するコンプライアンス教育の強化 .....	110
・ <b>事例③（汚染サプリメント）</b> .....	<b>111</b>
・ 対応のポイント .....	111
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	112
(1) 選手の立証活動のサポート .....	112
① 手続き概要の説明 .....	112
② 選手に対する弁護士の活用の示唆 .....	112
③ 選手の立証活動への協力 .....	112
(2) 再発防止策の実施 ～スポーツ団体内のアンチ・ドーピング体制の確立 .....	113
・ （参考）処分基準（スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル処分基準） .....	114
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分 .....	116
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分 .....	116
<b>類型 7-5) スポーツ・インテグリティ（高潔性）に問題がある場合 ～八百長</b> ..	<b>117</b>
・ 対応のポイント .....	117
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	118
(1) スポーツ団体としての調査 ～迅速かつ公正な調査 .....	118
(2) 関係者への説明 .....	118

(3) 再発防止のための方法の検討	118
(4) 処分の在り方 ～弁明の機会と処分の適正	119
(5) 再発防止策の実施	120
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドラインの作成	120
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置	120
③ 相談窓口の設置	121
④ 関係者に対するコンプライアンス教育啓発活動	121
(6) 広報 ～社会からの信頼回復	121
・ (参考) 処分基準 (スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル処分基準)	122
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分	123
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分	123

#### 類型7ー6) スポーツ・インテグリティ (高潔性) に問題がある場合 ～スポーツ事故 125

・ 対応のポイント	125
・ コンプライアンス強化のための実践案	126
(1) スポーツ団体としての調査 ～事故情報の報告の義務付け	126
(2) 処分の在り方 ～弁明の機会と処分の適正	126
(3) 再発防止策の実施	127
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドラインの作成	127
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置	127
③ 相談窓口の設置	127
④ 関係者に対するコンプライアンス教育啓発活動	127
(4) 広報 ～社会からの信頼回復	128
・ (参考) 処分基準 (スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル処分基準)	129
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分	130
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分	130

#### 類型8) スポーツ団体の役職員、選手・指導者による刑事事件 133

・ 対応のポイント	133
・ <b>事例① (暴行事件)</b>	<b>135</b>
・ 対応のポイント	135
・ コンプライアンス強化のための実践案	136
(1) 事実関係の確認及び情報収集	136

(2) 関係者への説明	137
(3) 処分の検討	137
(4) 処分の限界及び時期	138
(5) 不服申立て	138
(6) 再発防止策の実施	139
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドラインの作成	139
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置	139
③ 相談窓口の設置等	139
④ 関係者に対するコンプライアンス教育活動	140
・ <b>事例②（未成年の飲酒・喫煙）</b>	<b>141</b>
・ 対応のポイント	141
・ コンプライアンス強化のための実践案	142
(1) 事実関係の確認及び情報収集	142
(2) 関係者への説明	142
(3) 処分の検討	143
(4) 処分の限界及び時期	144
(5) 不服申立て	144
(6) 再発防止策の実施	144
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドラインの作成	144
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置	145
③ 相談窓口の設置	145
④ 関係者に対するコンプライアンス教育活動	145
・ <b>事例③（違法賭博）</b>	<b>147</b>
・ 対応のポイント	147
・ コンプライアンス強化のための実践案	148
(1) 事実関係の確認及び情報収集	148
(2) 処分の検討	148
(3) 処分の限界及び時期	149
(4) 不服申立て	149
(5) 再発防止策の実施	150
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドラインの作成	150
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置	150
③ 相談窓口の設置等	150
④ 関係者に対するコンプライアンス教育活動	151

(6) 反社会的勢力について	151
① 反社会的勢力	151
② 情報収集	151
③ 反社会的勢力に対する排除体制の構築	152
・ <b>事例④ (人身事故)</b>	<b>153</b>
・ 対応のポイント	153
・ コンプライアンス強化のための実践案	154
(1) 事実関係の確認及び情報収集	154
(2) 処分の検討	155
(3) 処分の限界及び時期	156
(4) 不服申立て	156
(5) 再発防止策の実施	156
① 各スポーツ団体における倫理規定、ガイドラインの作成	157
② コンプライアンス委員会や倫理委員会の設置	157
③ 相談窓口の設置等	157
④ 関係者に対するコンプライアンス教育活動	157
・ (参考) 処分基準 (スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン 別紙6 モデル処分基準)	158
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分	163
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分	163
<b>類型9) スポーツ団体の危機管理に問題がある場合</b>	<b>165</b>
・ 対応のポイント	165
・ <b>事例① (スポーツ団体による問題放置)</b>	<b>167</b>
・ コンプライアンス強化のための実践案	167
(1) 不祥事発生時のあるべき対応	167
① 不祥事が発生した場合の事実調査、原因究明活動	167
② 不祥事案における再発防止策の策定、処分	168
③ 外部有識者の関与	169
④ 第三者委員会の設置	169
(2) 広報 ～第一報の重要性と社会からの信頼回復	170
① 平時の準備	170
② 対応フローの概要	170
(3) 危機管理体制の構築	171

・ 事例② (スポーツ団体としての危機対応) .....	173
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	173
(1) 不祥事発生時のあるべき対応 .....	173
① 不祥事が発生した場合の事実調査、原因究明活動 .....	173
② 不祥事案における再発防止策の策定、処分 .....	174
③ 外部有識者の関与 .....	175
④ 第三者委員会の設置 .....	175
(2) 広報 ～第一報の重要性と社会からの信頼回復 .....	176
① 信頼回復のための広報 .....	176
② 第一報の重要性 .....	176
③ 対応フローの概要 .....	177
(3) 危機管理体制の構築 .....	177
① 危機管理の対象範囲 .....	178
② 緊急時の通報体制等 .....	179
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分 .....	181
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分 .....	181
<b>類型 10) その他法令違反 ～個人情報保護法違反 .....</b>	<b>183</b>
・ 対応のポイント .....	183
・ コンプライアンス強化のための実践案 .....	184
(1) 法令を遵守する旨の規定の整備 .....	184
(2) 法令遵守のための体制の整備 .....	184
(3) 法令遵守のためのコンプライアンス研修の実施 .....	184
① 個人情報保護法 .....	184
② その他関連法令等 .....	185
・ スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン参照部分 .....	186
・ NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン参照部分 .....	186

略語一覧

一般法人	一般社団法人及び一般財団法人
一般法人法	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
公益認定等委員会	内閣府公益認定等委員会
公益認定法	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律
公益法人	公益社団法人及び公益財団法人
個人情報保護法	個人情報の保護に関する法律
スポーツ団体処分手続モデル規程	スポーツを行う者を暴力等から守るための第三者相談・調査制度の構築に関する実践調査研究協力者会議「スポーツ団体処分手続モデル規程(試案)」
日本オリンピック委員会	公益財団法人日本オリンピック委員会
日本障がい者スポーツ協会	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
日本スポーツ仲裁機構	公益財団法人日本スポーツ仲裁機構
日本体育協会	公益財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会）
日本アンチ・ドーピング機構	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
日本スポーツ振興センター	独立行政法人日本スポーツ振興センター



はじめに

～スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン

不祥事対応事例集のご利用に当たって

## 1 不祥事対応事例集利用のポイント

本来コンプライアンス強化は、不祥事が発生するか発生しないかにかかわらず、ガバナンスの整備の基礎的な取組みであり、組織運営の骨格、基盤強化のため、競技の普及、振興、競技力の向上を目的とした施策の実施とともに常に意識しなければならないものです。

そして、スポーツ団体の規模によって各団体の人員構成に差があり、その対応力にも自ずと差があることがあり得るガバナンスの問題とは異なり、コンプライアンスはスポーツ団体の規模に関係なく達成しなければならないものであり、常に最新の情報を取り入れながら継続的に改善していく必要があります。

スポーツ団体は、その事業規模やスポーツの公益性に鑑みると、その運営における社会的影響力は極めて大きく、また、選手、指導者や審判等の団体構成員以外にも、スポンサー、メディア、ファンなど、ステークホルダー（利害関係者）が非常に多く、大なり小なり様々な不祥事が発生することを避けることは、スポーツ団体にとって難しいのが現実です。

そこで、スポーツ団体としては、あらかじめ発生する不祥事を想定し、大枠の対応マニュアルを策定しておく必要があります。不祥事が発生した場合の初動対応については別添「スポーツ団体向けモデル危機管理マニュアル」<sup>1</sup>に記載していますが、本不祥事対応事例集は、過去実際に発生したスポーツ団体における不祥事を参考に、類型ごとに対応のポイントと、実践案を個別具体的に記載したものです。

万一、各スポーツ団体において不祥事事案が発生したときには、担当者がまず「スポーツ団体向けモデル危機管理マニュアル」<sup>2</sup>に沿った初動対応を行いつつ、当該不祥事事案に近い事案を目次から探し、自らの団体における大枠の対応マニュアルとして利用頂くことを想定しています。

なお、本書において記載させていただいた団体名における法人形態につきましては、読みやすさのため、省略させていただきました。あらかじめご了承ください。

---

<sup>1</sup> [http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017\\_02\\_13.pdf](http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017_02_13.pdf)

<sup>2</sup> [http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017\\_02\\_13.pdf](http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017_02_13.pdf)

## 2 本書の構成

本調査研究の報告書では、これまで日本のスポーツ団体等で発生した不祥事の類型を 10 個に分類しています。そこで、これら 10 個の類型にしたがって、不祥事対応事例集をまとめました。

各類型においては、事案対応の流れ、ポイントにしたがって、対応マニュアルを記載しました。不祥事が発生した場合には、この流れ、ポイントに沿った対応が可能になっています。それぞれの事例において一から説明を行っており、複数の事例で重複する記載もありますが、それは、それぞれの事例での対応を説明するためですのでご理解いただければ幸いです。